

おおぞら

綱領

- 一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。



鳥取県東部中小企業青年中央会

平成27年度テーマ **進化**

サブテーマ **全員で、一歩ずつ前へ進もう！**

会長あいさつ

会長 清水隆文



第41期も早5ヶ月目に突入致しました。ひと月が飛ぶように過ぎていき、とても充実した日々を過ごしています。皆様も充実した日々を過ごされていますでしょうか。

この4ヶ月間を振り返ってみますと、

7月の通常総会・懇親会では、ご多用中のところ多数のご来賓の皆様、OBの皆様にご参会賜り、また多くのお言葉をおかけいただきありがとうございますと同時に、一層、会員と一緒に青年中央会を盛り上げていきたいという決意を新たにいたしました。

そして8月、しゃんしゃん祭りへの参加は例会としてではなく、今年から実行委員会としての参加でしたが、参加者も多く、当会を会外にしっかりアピールすることができました。また、手作り例会では、テーマ「ビジネスは情熱だ！初心忘るべからず」では、自身のビジネスに対する思いを、過去、現在、未来にまとめ発表する事により、目指すべき方向の再確認をし、また、会員各々がお互いをより一層理解しあえたのではないかと思います。

9月は、テーマ「インプロトレーニングでヒューマンスキルを向上しよう！」では、アドリブ力を見出す例会を行いました。ビジネスにおいて即断即決が必要な場面もあると思います。出席会員の6割以上が壇上に入り即興劇を体験。今までの例会では体験したことのない仕事上でも活かせる体験が積めたと思います。

また10月には、講師例会として宇佐美氏を招き、テーマ「良き経営者たる者、健康であれ！」では、従来の聴くだけでなく、観て、実際に体を動かしてみる運動体験型の例会を行い、世界一の肩書を持つ方から学ぶという貴重な体験ができました。またこの月は、オープン委員会、県行事でも、健康や運動に関して学び得る事もあり、情熱・努力、友愛・団結を感じとれた月でもありました。

そしてその後の青年中央会の地区行事・県行事は参加することに意義があり、時間を作り参加すると必ず、自分の為、また周りの人の為になる何かを持って帰ることができる、改めて感じました。是非皆さんも積極的に参加してみてください。

41期はまだ道半ばです。本年度テーマ「進化」のもと、引き続き、チャレンジ精神を忘れず、全会員がよりよい「自分自身」と「青年中央会」に向かって邁進していきましょう。

7月例会について

新！三方よし委員会 橋本正幸

去る平成27年7月16日（木）18：40より、ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間にて通常総会、及び懇親会をご来賓6名、OB30名、会員82名の出席にて行いました。

当日は日中から台風の影響で雨風が強く多少当日欠席もありましたが、たくさんの方に足を運んでいただきました。

通常総会では例年の報告・承認事項に加え、昨年度行われた創立40周年事業の報告及び収支決算も行われ、進行に於いても全体を通して、ほぼ時間通りスムーズに執り行うことが出来ました。

また懇親会では新入会員をはじめ、現会員とOB・来賓との交流が図られました。

ただ控室の椅子や灰皿の手配、テーブル配置の確認

等不十分なところがありました。新年度最初の例会は担当委員会としての準備期間も短いですが、慎重な確認及びチェックが必要と感じました。

ご来賓、OBにもお越しいただいた二次会については、会場を同一ビル内3店舗に割り振りしたことで、自由に入出入りしながらゆったり和気あいあいとした空間が提供できたと思えます。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



鳥取県中小企業青年中央会 『平成27年度通常総会・40周年記念式典・祝賀会』

前田 真 教

平成27年7月27日（月）ホテルセントパレス倉吉におきまして、平成27年度県通常総会が開催され、東部48名、中部23名、西部61名が出席しました。その後、東部46名、中部24名、西部58名の参加で創立40周年記念式典と祝賀会が開催されました。開会宣言・綱領唱和・会長あいさつ・来賓祝辞・来賓紹介・祝電・祝品披露のあとに、歴代県会長の紹介と感謝状授与（31期～40期）と続き、歴代会長より一言ずつお言葉を頂きまして歴史の流れというものを感じられました。そして未来。西部の牧田県会長よりの決意表明を達筆な書で披露していただきました。その後の祝賀会では来賓祝辞、めでたい鏡開きと続いてからの歓談。アトラクションではシンガーソングライターの石川達之氏の

ライブで癒されました。県議会議長の一本締めで祝賀会はお開き。その後もかばでの2次会でもほとんどの会員に残っていただき東部、中部、西部の親睦が深められたのではないのでしょうか。皆様ありがとうございました。



鳥取県中小企業青年中央会 『創立40周年記念事業ゴルフコンペ』

高井 清 貴

9月19日（土）大山平原ゴルフクラブにて、鳥取県中小企業青年中央会創立40周年記念事業ゴルフコンペを開催いたしました。また、表彰式・懇親会をホテルサンルート米子にて開催いたしました。牧田県会長、清水東部会長をはじめ、60名16組で秋晴れの大山で親善ゴルフを楽しみました。大山屈指のコースで難易度も高いようで、珍プレーも続出しました。上位入賞された方は、珍プレーにも動ぜず、素晴らしいスコアを収められていました。

今回、参加が出来なかった皆様もお時間の許す限り県の事業へご参加ください。より“進化”するために一歩前へ進みましょう。“熱”を感じ、“実”になる、そんな今までにない出会いが待っています。

表彰式・懇親会には歴代会長もお越し頂き、現役世代と諸先輩方との親睦、交流も深め、“縁を紡ぐ”事ができました。また、有志での2次会も行われ、県青年中央会の懇親がより深くなりました。



2015 T.S.C しゃんしゃん傘踊り

岡 大 輔



今から4年前「見ているより、踊った方が楽しいぞ！」と青年中央会は鳥取しゃんしゃん祭りに参加いたしました。その精神を受け継ぎ本年度も「第51回鳥取しゃんしゃん祭」へ参加いたしました。

本年度、実行委員会のテーマ「継承・進化」サブテーマ「祭りを通じて広げよう仲間の輪」を掲げ、「外部アピール」「会員相互の親睦」親子、家族、恋人などとのふれあいの時間を作ることもでき、また会員が

らつながる家族や仲間の輪を広げることが出来ました。

練習にも家族・従業員・OBの皆様を含めたくさんの方々にお越し頂きました。その成果を十二分に披露することができ、これも会員の皆様、また家族・OBの皆様のお陰です。本当にありがとうございました。



8月例会

パッション委員会

委員長 高井 清貴

8月例会を数年ぶりに復活し、8月20日（木）ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間にて、開催いたしました。「ビジネスは情熱だ！初心忘るべからず！」のテーマのもと、各会員の仕事に対する情熱をパッションシートに書き込み、発表いたしました。パッションシートには、自社PRと3つの視点（原点、現在、将来）を事前に用意して頂きました。そして、同じテーブルの委員会メンバーに向かって、想いを情熱的に伝えていただきました。会員同士の相互に理解を深める一つのきっかけになったかと思えます。

初心とは自身の未熟さを謙虚に受け入れ、新しい事柄に挑戦してゆく心構えの事です。

私もこの例会のパッションシートを時に振り返りながら、初心をわすれることなく、共に進化を続けていきたいと思えます。

本例会において、突然にステージ発表を行っていた皆様ありがとうございました。また、パッションシートを事前にご用意いただいた会員の皆様本当にありがとうございました。



9月例会

努力精鋭委員会

委員長 船越 誉裕



平成27年9月17日（木）19：00より、とりぎん文化会館 第二会議室にて「インプロトレーニングでヒューマンスキルを向上しよう！」と題し、コミュニケーション能力やプレゼン能力等を身に付け、自己に役立ててもらうための手作り例会を行いました。

未経験の会員の方もたくさんおられました。会員の皆様がその場で書いたキーワードを用いた台詞を言うという即興劇を実践していただきました。

ステージではそれぞれの個性や発想が発揮され、皆様のスキルの高さを感じました。役者の方も見ている

方も勉強になったとの声をいただき、大変嬉しく思います。アドリブの難しさを再認識し、ビジネスに置き換えても活かせるトレーニングを行うことができました。

反省点としては、構成会議の内容が分からなかったとの意見があり事前にもっと落とし込みをするべきでした。

キーワードが聞き取りづらかった場面もありましたが、特に大きな問題もなく時間通りに進行できました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。



10月例会

UN・DO委員会

委員長 中島 健太



平成27年10月15日（木）19：00より、ホテルニューオータニ鳳凰の間にて「良き経営者たるもの、健康であれ！」と題して、講師に2012年第21回世界空手道選手権大会優勝の宇佐美里香氏をお招きし、ご講演して頂きました。

世界一の演武を目の前で披露して頂き、眼力の凄さに圧倒されました。が、講演の際には、優しい女性の目に…。ギャップに驚きました。試合に負けて、悔しさがモチベーションだったなどビジネスにも通じるメンタル面のお話もありました。皆さんはどう感じられましたか？最後に参加者全員でツキ・蹴りを実践し、代表者に発表して頂きました。簡単な動作ではありま

したが、悲鳴をあげられた会員も少なくなかったのでは…。

本例会が運動の楽しさや健康について考えるきっかけになれば幸いです。委員会メンバーの団結も深まりました。参加者皆様のご協力本当にありがとうございました。



T.S.C-FC

坂本 憲一

T.S.C-FCは9月16日(水)と30日(水)に練習を行いました。八木OBにもゴールキーパーとしてご参加頂き、ゴール前でクルクル回る漫画並みのスーパーセーブを見せて頂きました。改めて八木OBの偉大さを感じた9月となりました。また今月中谷会員にも新たに加わって頂き、吉田県出向のお子様も見学に来てくれました。T.S.C-FCのモットーは「怪我をしないこと」。サッカー未経験者も大歓迎。皆で共に楽しく汗を流す仲間を随時募集中です。



限界ラバーズ

山田 学

突然、松岡県出向理事から携帯に電話が掛かってきました。

「皆生トライアスロンでフルマラソン走ってくれ！」っと、いきなりのオーダーに驚き何度も断りましたが松岡さんの熱意に押されてしぶしぶOKしたのを鮮明に覚えています。(笑)

僕自身フルマラソンは過去に2回完走していたので距離は問題無いと思っていましたが、真夏のフルマラソンは正直恐怖でした。やるからには絶対チームで完走！チームのみんなと誓いそれぞれ練習を続けて向かいました。台風の影響で当日までスイムが出来るかどうかの悪天候の中、無事にスイム、バイクとも終え「タスキ」を貰って走ることに。エイドステーションでは地元のボランティアや西部青年中央会のみなさんのおかげで元気を貰い、仲間が繋いでくれた「タスキ」を早く仲間の元に届けたい！そんな気持ちで楽しく走ることができました。清水会長を始め多くの仲間が応援に来て頂きとても心強く、ありがたかったです。最後のゴールでは仲間達とゴールテープを切ることが出来ました。マラソンでは味わえない感動的で印象的なゴールでした。最後にトライアスロンに誘って頂いた松岡監督！本当にありがとうございました!!チームの一員として走れて良かったです!!!

パッションコラム

今年2015年は、江戸末期の慶應元年(1865年)から150周年です。また、鳥取西高の前身である鳥取中学の鹿田一郎投手が直球でド真中に初球ストライクを投じた1915年8月18日から高校野球100周年になります。そして、1945年8月15日に終戦を迎えてから70周年、1985年8月9日に、慶應元年創業のとうふちくわの千村太投手を擁する鳥取西高が日大三高を7-4で破ってから30周年、1995年に阪神大震災が発生してから20周年です。3年後には、明治維新(1868年)から150周年となり、夏の高校野球選手権は第100回大会を迎えます。おおさか維新だけではなく、いまだ全国制覇の経験のない鳥取県高校野球界にも維新の風を吹かせるような活躍を期待したいものです。それでは、夏の高校野球選手権大会中に誕生日を迎える可能性のある会員の方を確認しておきましょう。8月6日(王貞治さん始球式)、松長武俊会員。8月7日(バナナの日)、石田渉会員。8月13日(国際左利きの日)、繁延珠希会員。8月15日(終戦記念日)、前岡和憲会員。8月20日(2011年に初めて午前中に決勝戦が行われる)、岩崎宗一会員。8月21日(献血の日)、奥村尚通会員。なんと、6人中4人が当パッション委員会のメンバーです。まさにパッションを感じる夏の国民的行事であります。 by 小谷直大

Information

新入会員紹介

油谷章吉会員(有限会社湯所薬品)
地域イノベーション委員会所属

結婚報告

藤原正実会員(パッション委員会)
吉田雅之県理事(努力精鋭委員会)



新社屋落成

森 雅道会員(MUGENDAI) オープン(パッション委員会)
三宅洋介会員(松江市こうりん坊) オープン(UN・DO委員会)
岡 大輔会員(ロンゴロンゴ 鳥取駅前店) オープン(UN・DO委員会)
西根伸吾会員(米子市くれよん保育園) 開園(新!三方良し委員会)



編集後記

「気付けばもう11月! 7月から新年度が始まり委員会の皆様と沢山笑い、沢山学びパッション魂で突き進むこの1年。皆様、体調に気を付け、己の『進化』に挑戦しましょう。」